



## 平成29年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 芝浦メカトロニクス株式会社  
 コード番号 6590 URL <http://www.shibaura.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役経営管理本部長  
 四半期報告書提出予定日 平成28年11月10日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(氏名) 藤田 茂樹  
 (氏名) 道嶋 仁

TEL 045-897-2425

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成29年3月期第2四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第2四半期	22,214	1.3	589	21.0	556	14.7	427	27.5
28年3月期第2四半期	21,930	10.6	487	△30.9	485	△36.0	334	△22.5

(注) 包括利益 29年3月期第2四半期 441百万円 (△0.3%) 28年3月期第2四半期 442百万円 (△15.7%)

	1株当たり四半期純利益		潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期第2四半期	8.64	—	—	—
28年3月期第2四半期	6.78	—	—	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
29年3月期第2四半期	54,013	15,918	15,918	29.5	322.23	
28年3月期	56,253	15,675	15,675	27.9	317.29	

(参考) 自己資本 29年3月期第2四半期 15,918百万円 28年3月期 15,675百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	4.00	4.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,000	1.0	1,300	0.6	1,100	△6.2	800	7.7	16.19

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P. 3「2. サマリー情報(注記事項)」に関する事項 (2)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期2Q	51,926,194 株	28年3月期	51,926,194 株
----------	--------------	--------	--------------

② 期末自己株式数

29年3月期2Q	2,524,688 株	28年3月期	2,522,893 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期2Q	49,402,476 株	28年3月期2Q	49,405,295 株
----------	--------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(3) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

## ①業績全般について

当第2四半期連結累計期間における当社グループの事業環境は、海外では中国経済減速や英国のEU離脱が決定したことなどから世界経済の先行きに対する不透明感が増しました。国内では、株価が低迷し円高が急激に進むなど懸念が強まり、総じて先行き不透明な状況が続きました。

当社グループでは、FPD (Flat Panel Display) 製造装置は、顧客投資が液晶からOLEDへ変化することによる投資計画変更の影響や、円高の影響などにより受注は減少しましたが、売上は中小型パネル向けを中心に増加しました。

半導体製造装置は、受注は前年同期並みとなりましたが、売上は主にボンディング装置の需要停滞などもあり減少しました。

全体として、受注は減少し、売上は若干増加となりました。また、事業構造改革が進展し、収益性の高い製品系列へのシフトが進んでいることなどにより営業利益が増加し、経常利益および親会社株主に帰属する四半期純利益も増加しました。

当第2四半期連結累計期間の業績は、受注高は19,248百万円（前年同期比17.5%減）、売上高は22,214百万円（前年同期比1.3%増）、営業利益は589百万円（前年同期比21.0%増）となりました。経常利益は556百万円（前年同期比14.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は427百万円（前年同期比27.5%増）となりました。

## ②セグメントの業績について

## (ファインメカトロニクス部門)

FPD前工程は、顧客投資が液晶からOLEDへ変化することによる投資計画変更の影響や、円高の影響などにより受注は減少しましたが、売上は中小型パネル向けを中心に増加しました。

半導体前工程は、先端分野への堅調な投資を受けて、受注、売上ともに増加しました。

部門全体では受注は減少し、売上は増加しました。また、売上増に加え、事業構造改革が進展し、収益性の高い製品系列へのシフトが進んでいることなどにより、セグメント利益は増加しました。

この結果、当セグメントの売上高は14,503百万円（前年同期比22.5%増）、セグメント利益は131百万円（前年同期はセグメント損失326百万円）となりました。

## (メカトロニクスシステム部門)

FPD後工程は、大型液晶パネル向け装置は堅調でしたが、中小型パネル向け装置の受注が減少し、全体として受注、売上ともに減少しました。

半導体後工程は、ボンディング装置の需要停滞などもあり、受注、売上ともに減少しました。

真空応用装置は、IoT関連、車載関連装置の需要増を受けて受注、売上ともに増加しました。

部門全体では、受注、売上ともに減少しました。また、売上の減少にともないセグメント利益は減少しました。

この結果、当セグメントの売上高は5,729百万円（前年同期比30.9%減）、セグメント利益は291百万円（前年同期比61.4%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ2,240百万円減少し54,013百万円となりました。これは主に、現金及び預金が1,218百万円増加したものの、売掛金が2,021百万円、未収入金が556百万円、有形固定資産が528百万円減少したことによるものです。

負債は、前連結会計年度末に比べ2,483百万円減少し38,094百万円となりました。これは主に、買掛金が1,501百万円、短期借入金が440百万円、前受金が605百万円減少したことによるものです。

純資産は、前連結会計年度末に比べ243百万円増加し15,918百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益427百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

## ②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前連結会計年度末に比べ1,218百万円増加し、8,230百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の増加は2,330百万円（前年同期は1,030百万円の増加）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の計上及び売上債権の減少等により資金が増加したことによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の減少は260百万円（前年同期は214百万円の減少）となりました。これは主に、固定資産の取得等により資金が減少したことによるものです。

なお、営業活動によるキャッシュ・フローと投資活動によるキャッシュ・フローを合わせたフリー・キャッシュ・フローは、2,069百万円の増加（前年同期は816百万円の増加）となりました。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の減少は656百万円（前年同期は229百万円の減少）となりました。これは主に、借入金の返済及び配当金の支払いにより資金が減少したことによるものです。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想の修正については、本日（平成28年11月2日）公表しました「平成29年3月期 第2四半期連結累計期間業績予想と決算値との差異及び通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で把握可能な情報をもとに判断し作成しております。当社グループの主要顧客であるFPD、半導体業界は、変化の激しい業界であり、実際の売上高及び利益は、予想数値とは異なる可能性があることをご承知おきください。

## 2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

## 会計方針の変更

（平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用）

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この減価償却方法の変更による影響額は軽微であります。

## (3) 追加情報

（繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用）

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,026	8,245
受取手形及び売掛金	29,492	27,426
電子記録債権	673	677
商品及び製品	1,363	1,223
仕掛品	2,404	2,264
原材料及び貯蔵品	184	209
繰延税金資産	573	547
未収入金	1,324	768
その他	778	636
貸倒引当金	△23	△23
流動資産合計	43,797	41,974
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	28,353	28,430
減価償却累計額	△19,191	△19,390
建物及び構築物(純額)	9,161	9,039
機械装置及び運搬具	4,318	4,496
減価償却累計額	△2,852	△3,199
機械装置及び運搬具(純額)	1,466	1,296
工具、器具及び備品	655	683
減価償却累計額	△527	△548
工具、器具及び備品(純額)	128	135
土地	119	119
リース資産	356	347
減価償却累計額	△274	△282
リース資産(純額)	82	65
建設仮勘定	334	108
有形固定資産合計	11,292	10,763
無形固定資産		
特許権	344	341
その他	158	249
無形固定資産合計	502	591
投資その他の資産		
投資有価証券	113	109
長期前払費用	6	6
繰延税金資産	155	192
その他	386	377
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	660	683
固定資産合計	12,455	12,038
資産合計	56,253	54,013

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	12,330	11,314
短期借入金	5,540	5,100
1年内返済予定の長期借入金	—	800
リース債務	36	36
未払法人税等	243	224
未払費用	3,252	2,979
前受金	1,278	673
役員賞与引当金	28	16
受注損失引当金	—	17
その他	563	527
流動負債合計	23,273	21,690
固定負債		
長期借入金	6,500	5,700
リース債務	55	37
長期未払金	4	2
退職給付に係る負債	7,291	7,215
役員退職慰労引当金	7	7
修繕引当金	333	328
資産除去債務	34	34
長期預り保証金	3,076	3,078
固定負債合計	17,304	16,404
負債合計	40,578	38,094
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,761	6,761
資本剰余金	9,107	9,107
利益剰余金	2,981	3,211
自己株式	△1,722	△1,722
株主資本合計	17,128	17,357
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	21	18
為替換算調整勘定	342	199
退職給付に係る調整累計額	△1,817	△1,657
その他の包括利益累計額合計	△1,453	△1,439
純資産合計	15,675	15,918
負債純資産合計	56,253	54,013

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)
売上高	21,930	22,214
売上原価	17,059	17,103
売上総利益	4,871	5,110
販売費及び一般管理費	4,383	4,520
営業利益	487	589
営業外収益		
受取利息	7	2
受取配当金	0	0
為替差益	52	—
デリバティブ評価益	33	248
その他	27	18
営業外収益合計	121	269
営業外費用		
支払利息	73	67
為替差損	—	184
その他	50	50
営業外費用合計	123	302
経常利益	485	556
税金等調整前四半期純利益	485	556
法人税、住民税及び事業税	108	140
法人税等調整額	41	△11
法人税等合計	150	129
四半期純利益	334	427
親会社株主に帰属する四半期純利益	334	427



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
四半期純利益	334	427
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	△2
為替換算調整勘定	13	△143
退職給付に係る調整額	94	160
その他の包括利益合計	107	14
四半期包括利益	442	441
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	442	441

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	485	556
減価償却費	659	767
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	1
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	128	84
受取利息及び受取配当金	△8	△3
支払利息	73	67
為替差損益 (△は益)	3	△16
前受金の増減額 (△は減少)	45	△537
売上債権の増減額 (△は増加)	1,247	1,951
たな卸資産の増減額 (△は増加)	38	179
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,410	△1,085
その他	△10	599
小計	1,253	2,565
利息及び配当金の受取額	8	3
利息の支払額	△73	△67
法人税等の支払額	△158	△170
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,030	2,330
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	3	0
有形固定資産の取得による支出	△119	△92
有形固定資産の売却による収入	0	2
その他	△98	△170
投資活動によるキャッシュ・フロー	△214	△260
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△60	△440
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△20	△18
長期借入れによる収入	700	—
長期借入金の返済による支出	△700	—
配当金の支払額	△148	△197
自己株式の取得による支出	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△229	△656
現金及び現金同等物に係る換算差額	14	△195
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	601	1,218
現金及び現金同等物の期首残高	4,195	7,012
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,797	8,230

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	11,843	8,286	792	1,008	21,930
セグメント間の内部売上高又は振替高	8	87	0	—	97
計	11,852	8,374	792	1,008	22,027
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△326	756	2	244	677

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	677
全社費用(注)	△216
その他	24
四半期連結損益計算書の経常利益	485

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	ファインメカ トロニクス	メカトロニク スシステム	流通機器 システム	不動産賃貸	
売上高					
外部顧客への売上高	14,503	5,729	943	1,037	22,214
セグメント間の内部売上高又は振替高	25	77	0	—	103
計	14,529	5,807	944	1,037	22,318
セグメント利益	131	291	34	302	759

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	759
全社費用(注)	△208
その他	5
四半期連結損益計算書の経常利益	556

(注) 全社費用は、報告セグメントに帰属しない当社の研究開発費のうち全社共通に係る要素開発費用であります。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。